

[012]人間科学共生社会学表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7151774>

出版情報：人間科学共生社会学. 12, 2023-03-31. Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

安立清史教授 退任記念号



安立清史教授の主要業績

単 著

- 2023年 『福祉の起原』 弦書房
2022年 『ボランティアと有償ボランティア』 弦書房
2021年 『21世紀の《想像の共同体》——ボランティアの原理 非営利の可能性』 弦書房
2020年 『超高齢社会の乗り越え方——日本の介護福祉は成功か失敗か』 弦書房
2008年 『福祉 NPO の社会学』 東京大学出版会
1998年 『市民福祉の社会学——高齢化・福祉改革・NPO——』 ハーベスト社

共 著

- 2021年 「社会福祉法人制度改革——そのあとの改革、その先の改革」, 関川芳孝編『社会福祉法人はどこへ向かうのか』 大阪公立大学共同出版会, 135-151.
2019年 「社会福祉法人改革のあと社会福祉法人はどこへ向かうか——P. ドラッカーの「非営利組織の経営」論からの示唆」, 関川芳孝編『社会福祉法人制度改革の展望と課題』 大阪公立大学共同出版会, 159-174.
2014年 「高齢者 NPO の可能性——アメリカを参考に考える」, 『NHK テキスト 社会福祉セミナー』 NHK 出版, 27(91) : 72-75.
2013年 「福祉ボランティアと NPO——福祉社会学の論点」, 藤村正之編, 『シリーズ福祉社会学 3 協働性の福祉社会学——個人化社会の連帯』 東京大学出版会, 183-202.
2012年 「福祉コミュニティと福祉 NPO——岡村理論と NPO 理論の相補性」, 牧里每治・岡本榮一・高森敬久編『岡村理論の継承と展開 第2巻 自発的社会福祉と地域福祉』 ミネルヴァ書房, 194-220.
2010年 「地域福祉理論の生成と展開——岡村重夫の社会福祉理論を読む」, 『創立八十五周年記念論文集 下巻』 九州大学文学部, 583-611.
2008年 「介護 NPO の達成と課題」, 上野千鶴子・大熊由紀子・大沢真理・神野直彦・副田義也編『ケアその思想と実践 6 ケアを实践するしかけ』 岩波書店, 99-115.
2006年 「地域福祉における市民参加」, 三重野卓・平岡公一編『福祉政策の理論と実際——福祉社会学入門 改訂版』 東信堂, 91-111.
2003年 『介護系 NPO の最前線——全国トップ16の実像』 (共著者: 田中尚輝・浅川澄一) ミネルヴァ書房.
2003年 「集団と社会——ボランティア・NPO・社会改革」, 満田久義編『現代社会学への誘い』 朝日新聞出版, 68-81.
2002年 「NPO が開く公共性」, 佐々木毅・金泰晶編『公共哲学 7 中間集団が開く公共性』 東京大学出版会, 293-331.

- 2002年 「高齢者運動」, 目加田説子編『市民の道具箱』岩波書店, 120-121.
- 2001年 『ニューエイジング——日米の挑戦と課題』(共著者:小川全夫)九州大学出版会.
- 2000年 『高齢者NPOが社会を変える』(共著者:田中尚輝)岩波書店.
- 2000年 “The development of social welfare services in Japan”, Susan O. Long ed., *Caring for the Elderly in Japan and the U.S: Practices and Policies*, London: Routledge, 191-205.
- 1999年 「福祉社会の行方」, 満田久義・青木康容編『社会学への誘い』朝日新聞出版, 79-89.
- 1996年 「ボランティアの国際比較——アメリカ・ロスアンゼルスでの調査から」, 高橋勇悦・高萩盾男編『高齢化とボランティア社会』弘文堂, 161-166.
- 1994年 「福祉活動の担い手」, 目黒依子編『ジェンダーの社会学』放送大学教育振興会, 98-107.
- 1993年 「高齢者と地域環境・地域福祉」, 青井和夫・三浦文夫編『社会福祉の現代的課題——地域・高齢化・福祉』サイエンス社, 121-146.
- 1993年 「ケア付き住宅と農業協同組合の役割——フランス」, 坂巻熙・橋本正明編『明日の高齢者ケア No.9 高齢者ケアのニューウェーブ』中央法規出版, 297-231.
- その他、多数

論 文

- 2020年 「日本のNPO研究の20年——社会福祉とNPO」『ノンプロフィット・レビュー』日本NPO学会, 19(1-2): 3-12.
- 2019年 「『介護』の先の《介護》はどこにあるか」『人間科学 共生社会学』九州大学大学院人間環境学研究院, 9: 105-113.
- 2007年 「社会政策とNPO」『社会政策研究——特集・市民活動・NPOと社会政策』東信堂, 7: 17-36.
- 2006年 「米国のシニアムーブメントはなぜ成功したか」『社会学評論』日本社会学会, 57(2): 275-291.
- 2005年 「福祉NPO概念の検討と日本への応用」『大原社会問題研究所雑誌』法政大学大原社会問題研究所, 554: 15-27.
- 2005年 「福祉NPOの展開と福祉社会学の研究課題」『福祉社会学研究』福祉社会学会, 2: 12-32.
- 2004年 「アメリカの病院ボランティア・システム」『社会保険旬報』社会保険研究所, 2215: 11-15.
- 2004年 「アメリカにおけるニューエイジング研究の動向——ベビーブーマー世代の高齢化をめぐる」三浦文夫編『図説 高齢者白書 2004年度版』全国社会福祉協議会, 152-161.
- 1996年 “Expansion of Formalized in-home Services for the Japan’s Aged”, *Journal of Aging & Social Policy*, 8(2-3): 147-159. (共著者: James E. Lubben and Noriko Tsukada)
- その他多数